

令和5年度 盛岡中央高等学校附属中学校  
一般入試 中期 算数 模範解答

受験番号	氏名

1

(1)	(2)	(3)	(4)	□
208	155	$\frac{5}{7}$	10.62	
(5)	(6)			
$\frac{5}{3} \left(1\frac{2}{3}\right)$	1450			

2

(1)	(2)	(3)	(4)	□
$\frac{5}{8}$	22	12 台	840 円	
(5)	(6)	(7)	(8)	
8 回	60.5 度	340 m <sup>2</sup>	65.94 cm <sup>2</sup>	
(9)	(10)	(11)	(12)	□
425.25 cm <sup>3</sup>	時速 90 km	336 回	B	

3

(1)	□
18 通り	

4

(1)	□
8 時 43 分 $38\frac{2}{11}$ 秒	

5

(1)	(2)	□
1570 cm <sup>3</sup>	5 cm	
(3)		
4 本		

3 (2)

(例) 三角形は、一方の直線から1つ、もう一方の直線から2つの点を選ぶとかくことができる。まず、直線アから1つ、直線イから2つの点の選び方を考える。直線アの3つの点から1つの点の選び方は3通りで、直線イの4つの点から2つの点の選び方は、 $4 \times 3 \div 2 = 6$ 通りなので、直線アから1つ、直線イから2つの点の選び方は、 $3 \times 6 = 18$ 通り  
次に、直線アから2つ、直線イから1つの点の選び方を考える。直線アの3つの点から2つの点の選び方は、 $3 \times 2 \div 2 = 3$ 通りで、直線イの4つの点から1つの点の選び方は4通りなので、直線アから2つ、直線イから1つの点の選び方は、 $3 \times 4 = 12$ 通り  
よって、求める場合の数は、 $18 + 12 = 30$ 通り  
答え ( 30 ) 通り

4 (2)

(例) 勉強している間に動いた長針と短針の角度の差は、ちょうど1周半の540度である。長針と短針は1分間にそれぞれ6度と0.5度動くので、1分間に $6 - 0.5 = 5.5$ 度の差がつく。よって、勉強している間に時計が動いた時間は、 $540 \div 5.5 = 540 \div \frac{11}{2} = \frac{1080}{11}$ 分  
これは正確な時間では90分なので、この時計の1時間の正確な時間を□分とすると、 $\frac{1080}{11} : 90 = 60 : \square$ より、 $\square = 55$ 分  
したがって、生じる誤差は、 $60 - 55 = 5$ 分  
答え ( 5 ) 分

